

# こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.326 2017.7.12 連絡先 402-1622 >



## 平和ツアー 長野県阿智村に参加して

### 満蒙開拓平和記念館

阿智村には、日本で唯一の「満蒙開拓団」に特化した記念館があります。

農家の二男、三男…長男以外は「20町歩の地主になれる」と、日本の土地や家を処分し、意気揚々と満州へ渡っていったのでしょう。

「満州国」の治安の維持や、ソ連国境地域の防衛といった軍事的目的は知らされないまま、「満州農業移民百万戸移住計画」という国策として満州へ送り出されたのです。日本に戻ることは想定していなかったはずですが、しかし、敗戦とともに、日本に反感や憎しみを抱いていた現地の人たちの一部が暴徒化し、開拓団を襲撃しました。凄惨を極め、筆舌尽くしがたい苦勞とともにやっとの思いで帰ってきた自分の故郷には住む家はなく、生活の場を求めて再び開拓民として知らない土地で苦勞を重ねたといえます。

一方、満蒙開拓団は「開拓」とされながらも、多くは現地の人々の土地や家を安く買収し、強制的に立ち退かせたものです。日本に反感や憎しみを抱かせるようなことをやってきた、侵略の加担でもありました。満蒙開拓にも「被害と加害」両面あることをきちんと知らなければならなりません。

説明して下さった方の「戦争は起こるものでなく、起こすもの」という言葉が残っています。だから、人の手によっておこさせないようにできるはずですが、「いぬめぐり」という歌の歌詞、少女が淡い恋心を抱く青年が戦争で死んでしまった、そのことを歌にしているのですが、最後が「戦争が起こらんようにする」となっています。人の意思ではじまる戦争は「私」の意思で「起こらんようにする」という決意を歌っています。みんなが、この少女のように決意すれば、戦争は起こりません。

市報わかやま 7月号より

男女共同参画特別講演セミナー

**「浜矩子が語る！  
誰もが幸せになれる経済論  
～日本を変える女性の力～」**

7月29日（土）13時30分～

和歌山ビッグ愛

先着200名

申込・問合せ先：432-4704男女共生推進課

しれれ  
たてい  
ていさ  
しさに  
まに見  
まとき



の手に  
仕事さ  
ばきで  
す。

熟練さ  
れた方  
は

しようと  
、調整

す、常に  
同じ太さ  
の糸にな  
る

いきます  
。巻き取  
るの機械  
で

10個ほ  
どの繭か  
らとつ

た糸で1  
本の糸に  
紡いで

出ている  
糸は見え  
るか見

えないう  
の細さで  
すが、

### みち子のひとりごと 平和ツアー

すべすべして  
いるので  
す。初め  
ての体験  
でした。  
また、こ  
こでは実  
際に繭を  
紡いでい  
く作  
業を目の  
前で見  
ることが  
できます  
。1個の  
繭から  
出ている  
糸は見え  
るか見  
えないか  
の細さで  
すが、

平和ツアーの2日目は、岡谷蚕糸博物館「シルクファクトおみやげ」に行きました。製糸工場を併設する他にない博物館です。養蚕・製糸の歴史を学べる場所ですが、感動したのは、「お蚕様」の手触りです。桑の葉をたっぷり食べた「お蚕様」は次は繭を作ります。自らの体からは繭を吐き出し繭をつくるのですが、その体がすでに絹のようになっています。すべすべして

## 南畑さち代議員の一般質問

### メガソーラーの心配な影響

六十谷・直川・園部地域の74.3haの西側、直川・府中地域の東側、これらの計画を不安視する住民は「いずみ山系の巨大太陽光発電を考える会」を結成し、3455筆の署名を知事に提出しています。

南畑議員は、広範囲な山林伐採により流出する水が干手川と有功用水路に流入することについて、環境影響調査の対象となる東側だけでなく、西側についても併せて検討が必要なこと、地域住民に対する業者の説明が隣接する自治会が中心になっていることを指摘し、複合的な影響予測や下流域の住民にもきちんと計画の説明が行われることを求めました。

また、環境影響調査について、三重県では面積が20ha以上は必要だとしていることを紹介し、県に対し同様の取り扱いを求め意見を言うことや計画地での除草剤を禁止すべきことを主張しました。

## 中村あさと議員の一般質問

### 住宅購入やリフォーム助成を

中村あさと議員は、多動性の発達障害を抱えたお子さんを持つ方から、一戸建ての住宅で子育てしたいとの相談が寄せられたことから、住宅について、質問しました。

中村議員は、発達障害を抱えるお子さんのいる家庭だけでなく、乳児期の夜泣きや子どもが多い家庭など、一戸建てを望む方たちの経済的負担を考慮して、住宅購入の支援策や中古住宅のリフォーム助成を求めました。中村議員は、人が住まなくなった住宅は老朽化が進みやすいことを指摘し、中古住宅のリフォームは、空き家対策にも有効だと主張しました。担当局の答弁は、必要があるかないかの判断を示さず、単に「財政確保が困難」と冷たいものでした。

中村議員は、市の就学援助の金額が国基準よりも低いことを指摘し改善を求めましたが、「財政状況」を理由に拒否するという、冷たい答弁に終始しました。

こんにちは

原やすひつとです



「食糧を輸入している世界No.1の国は、言わずと知れた日本。どこから来ているのかというと、一位はアメリカ、二位は中国、三位はヨーロッパだ。中国産の野菜から残留農薬が出たとか、アメリカ産のフロッコリでも検出されたとか、そんな話がよくある。日本への輸入食品の9

割以上は検査されないで入ってきている。10%も検査されていない。ほぼ素通り。だいたい日本には検査官が300人しかいない。アメリカは7000人の体制。しかし、最大の問題は、食糧自給率が低すぎることだ。だから何もかも外国から輸入せんと食べるものがない。世界の中でも異常な国になっている。

共謀罪法

戦争を共謀したひとその罪を

問う条項のありやなしや

違法な戦争とわかつたらどうするのか。私は、適法な戦争はないと考えています。

(八十翁)